



ジュゴン Vol.101

ちゃんぷるニュース

 **SDCC 2018. 11. 27**
Save the Dugong Campaign Center

CONTENTS

- 2/3 情勢・政府は県と協議を
● ジュゴン訴訟リーフ発行
- 4/5 知事選をめぐる
● 土砂搬出現場の闘い
- 6/7 沖縄環境ネットワークシンポ やぐ
● コラム「ジュゴンから生まれ琉球文化」
- わんさか通信★ジュゴンのわ



玉城デニー沖縄県知事が11月10日より訪米しました。14日、国務省でナッパー国務次官補代理代行、ポスティ国防総省日本部長代行と会談。デニー知事は「県民は新基地反対、普天間閉鎖・返還を選挙結果で示しているが、米国と国は一顧もしない。」(11/15産経)と県民の怒りをぶつけました。米側は「辺野古移設が唯一の解決策」との立場を繰り返すのみでした。しかしデニー知事のアピールは、米国社会に確実に響いています。

デニー知事訪米で米国世論をうごかす

— ジュゴン訴訟再審理を実現しよう —

11月11日、ニューヨーク大学でデニー知事の講演会が行われました。講演会は島袋マリアニューヨーク大学准教授が呼びかけ、140名が集まりました。デニー知事は「今回は多様性の持つ力、沖縄の民主主義の誇りをテーマにお話するために、アメリカでも多様性にあふれている都市ニューヨークを、アメリカでの活動をスタートする場所を選びました。」「沖縄だけに解決策を問うのではなく、日本とアメリカの市民の皆さんが、自分のこととして捉えていただき、一緒に解決策を考え、太平洋を越えて繋がって、行動する輪を広げていただきたいという思いです。」と語りかけました。

講演会に先立ちニューヨーク市内のワシントン広場で辺野古新基地反対のイベントがおこなわれました。アフガニスタンからの帰還兵が飛び入りで参加し、「きみたちから、教えてもらうまでこの辺野古の新基地のことなんて、全然、まったく知らなかった。おかしいよ、新基地を作るなんて。ノー！」と語りました。(Facebook/Hideko Otake) 沖縄の民意が、アメリカの世論にも届き確実に変えつつあります。

ジュゴン訴訟は、原告側が控訴しました。無茶な工事によるジュゴン個体Cの行方不明、^{うみくさもば}海草藻場の破壊、サンゴの死滅、それらを理由とした沖縄県の「埋め立て承認撤回」～直近の情報をもとに、再審理を実現しましょう。世界の世論とつながれば可能です。SDCCはジュゴン訴訟普及のためのリーフレットを作成しました。これをぜひ活用し、再審理を実現する世論を大きく高めましょう。(関西 松島洋介)

[WEB] <http://www.sdcc.jp/>

[EMAIL] info@sdcc.jp



中満泉国連事務次長との面談後の玉城デニー知事。
ニューヨーク国連本部前(琉球新報11/14より)



台風24号の影響で大きくえぐられ岸壁3か所
が使用不能となった本部町塩川港(5面)

情勢

政府は直ちに工事を中止して沖縄県との協議を！

安倍内閣・国土交通省は 10 月 30 日、沖縄県の「辺野古埋め立て承認撤回」について執行停止を決定しました。県の意見書提出からわずか 5 日後という短期間での決定でした。しかも、行政不服審査請求は国民が行政に対して不服を申し立てる制度であり、国の機関が私人を装って利用するなど論外です。埋め立て土砂の年内投入を急いでいるのです。10 月 26 日には 110 名の行政法学者が「行政不服審査制度の乱用だ」との声明を出しました。沖縄県は 11 月中に国地方係争処理委員会に審査を申し出ます。

前回の埋め立て承認取り消し訴訟と似てきました。当時、福岡高裁那覇支部は行政法学者声明などの世論を受けて、代執行訴訟公和解勧告文（2016 年 1 月）で、国と沖縄県の訴訟の応酬は、1999 年地方自治法改正（国と地方公共団体が対等協力関係である）の精神に反すると指摘。「埋め立て承認撤回」や「設計変更に伴う変更承認」の際に、「知事の広範な裁量が認められて敗訴するリスクは高い」と国を「説得」せざるを得ませんでした（資料 1）。その結果、同

年 3 月に国と沖縄県との間で「和解条項」が結ばれ、「第 8 項、埋め立て事業に関する円満解決に向けた協議を行う（資料 2）」ことを確認して、12 月最高裁判決まで工事を中止しました。この経緯を踏まえるならば、安倍内閣は直ちに工事を中止して沖縄県との協議に応じるべきです。

玉城デニー知事は米国大使との会談後、11 日から訪米しました。ニューヨークタイムスは玉城知事誕生をふまえて「沖縄の民意は新しい基地を欲していない。日米は公平な解決策を探るべき」（10 月 1 日社説）としています。米ジュゴン訴訟原告団は 9 月に連邦控訴裁判所に控訴しました。国防総省、防衛省はジュゴン C の行方不明の原因を明らかにすべきです。本部塩川港の岸壁が台風で破損し、沖縄防衛局は使用できず、埋め立て土砂搬出のめどは立っていません。辺野古ゲート前やカヌー隊、塩川港での闘いと連帯し、全国各地で「沖縄県と円満解決に向けた協議を行え」「埋め立て工事を中止せよ」の世論を高めましょう。（11 月 11 日記）

（事務局 蛭川義章）

（資料 1）

「福岡高裁那覇支部・代執行訴訟公和解勧告文（16 年 1 月 29 日）」抜粋

今後も裁判で争うとすると、仮に本件訴訟で国が勝ったとしても、さらに今後、埋め立て承認の撤回がされたり、設計変更に伴う変更承認が必要になったりすることが予想され、…、それらでも勝ち続ける保証はない。むしろ、後者については、知事の広範な裁量が認められて敗訴するリスクは高い。仮に国が勝ち続けるにしても、工事が相当程度遅延するであろう。

（資料 2）

「国と沖縄県の和解条項」抜粋

8. 原告及び利害関係人と被告は、是正指示の取り消し訴訟判決確定まで普天間飛行場の返還及び本件埋め立て事業に関する円満解決に向けた協議を行う。



護岸で囲まれてしまった辺野古の浅瀬。フロートも設置されています。写真：沖縄タイムス

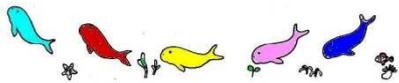


知事当選後、名護にあいさつに来られた玉城デニーさん。「はいさいぐすーよー。名護のぐすーよー、ありがとうございますた！！」 *「ぐすーよー」は「皆さん」の意

ジュゴン訴訟を応援するリーフレットを発行 控訴審に向けて、広げてください！

標題のリーフレット「OKINAWA じゅごんを救え！！」「ジュゴン訴訟を応援し 辺野古の海を守ろう」を11月下旬に1万部発行しました。A5版で8頁と、コンパクトで、見やすく広げやすいリーフレットです。p2、3は「沖縄ジュゴンが絶滅寸前」「米国裁判所にジュゴンが登場」と、ジュゴンの現状と裁判に至った経過を書いています。p4、5は「米国裁判所で奮闘中のジュゴン」と見開きで、提訴以降の経過を年表形式で書いています。p6、7は「IUCN でつながる世界の仲間たち」とSDCCの取り組みを写真で紹介しています。p8はジュゴン訴訟で工事差し止めが可能であると訴えています。

9月24日に原告は判決を不服として、連邦控訴裁判所に控訴しました。来年1月にも審理が始まります。短期間ですが、周りの方にこのリーフレットを広げてください。メール、ファックスで必要部数を申し込んで頂ければ送付します。郵送費とカンパをお願いします。



欠陥機オスプレイの横田基地配備を許さない！

10月1日に垂直離着陸輸送機CV22オスプレイ5機が米軍横田基地に正式に配備されました。すでに6月から横田基地に常駐して、静岡県東富士演習場での飛行訓練や、岩国、三沢基地との往復など本州の上空を飛び回っていました。さらに5機配備される予定です。このCV22オスプレイは空軍仕様で、敵地に潜入し人質を奪還するなど特殊作戦部隊の運搬が任務です。沖縄県普天間基地に配備されているMV22オスプレイ（海兵隊所属）よりも夜間飛行や低く飛ぶ能力が強化され、事故の頻発が予想されています。8月末、佐賀県が防衛省と陸上自衛隊のMV22オスプレイ17機の受け入れを、20年間100億円の「空港利用料」で合意しました。陸自のオスプレイは佐賀県に配置されている「水陸機動隊」（日本版海兵隊）を尖閣列島周辺に運搬するのが役割です。しかし、政府防衛省は具有明漁協や近隣の柳川市長、市議会の反対で、今秋5機納入予定を延期せざるを得なくなりました。

オスプレイは普天間基地に24機、横田基地に10機（5機配備済み）、佐賀空港に17機（配備予定）で合計51機が日本の上空を我が物顔に飛び回ることになります。昼夜を問わない飛行による騒音被害だけでなく、沖縄県名護市やオーストラリアで墜落している危険なオスプレイの撤去を沖縄県民と連帯して実現しましょう。安倍内閣に日米地位協定の抜本的改定と、航空法など国内法の適用などを米国政府に要求させましょう。（事務局 蛭川義章）



米空軍の新型輸送機CV22オスプレイ 毎日新聞



沖縄知事選 1

デニー候補にうちなーんちゅの千ムゲクルを見た

9月30日(日)午後8時過ぎ、私の携帯が鳴った。伊江島の謝花さんから。第一声「よかったね!」「えっ!」「テレビに出たよ!」「本当?」午後9時頃から「ひやみかちうまんちゅの会本部(もとぶ)支部」事務所に向かおうと思っていたのでびっくり。絶対に負けられない選挙ではあったが、この時間にといいのはにわかには信じられなかった。

デニー候補は、第1声出発の場所を伊江島とした。伊江島は彼の母親の故郷であり、また「イデオロギーよりアイデンティティー」というウチナンチューとしての心を確認する地でもあり、戦後、「銃剣とブルドーザー」による土地取り上げに対する島ぐるみの闘いの発祥の地、ここから私の知事選を出発させたいと思いを語った。後で知ったが、選対本部はやはり那覇市か沖縄市から声を上げるべきと促したが、「誰ひとり取り残さない」

という政治姿勢を示すためにもデニー候補の意志が貫かれ、了解されたという。

実は、告示日前日、謝花さんの携帯に出発式に関する情報が入った。そして、当日、出発式前にそっとデニー候補がわびあいの里を訪れ阿波根昌鴻さんの遺影に手を合わされたとのことだった。



第一声はビール箱の上で。以降、彼は県民を見下ろす位置でマイクを持つことはなかった。そんなデニー候補を落とすわけにはいかない。

チラシ配布に、電話かけ、朝・夕の手振り、期日前投票の案内と本部町島ぐるみ会議は本部町での選挙戦を担い切り、保守の地域と言われる本部町でも勝利した。(沖縄 高垣喜三)

沖縄知事選 2

大阪から知事選応援に行ってきました!

知事選挙の応援に10日間強、名護市に行ってきました。「玉城デニー氏、史上最多得票で勝利!」と、民意が示された選挙に少しでも関わる事が出来て良かったと思います。名護市では、市民の立ち上げた「やんばる勝手連」で活動する中、ウグイスが足りないということで「ひやみかちうまんちゅの会北部支部」でもウグイスを手伝いました。朝7時半から一時間、毎日朝立ち。雨の日も暑い日も皆で頑張りました。昼過ぎに訪ねてくるおじいおばあから話を聞き、勉強になる事も沢山ありました。皆、一様に「安倍ではだめだよ、この選挙では勝たねばならないから頑張ってね」と励ましてくださいました。道ジュネーを数人で練り歩き、「名護市の未来は」「沖縄の未来は」とアピール行動もしました。ウグイスでは名護市中を周りました。まだ行った事のない場所や聞いたことのない地名を覚えながら、やんばるの自然の

美しさに励まされるようでした。地域によっては、小学生の集団に「さきま!さきま!デニーは応援しないよ!」と言われ落ち込む事もありましたが、学童からの「デニー!」のコールや、ハイタッチを求め走ってくるおばあも居て、最後まで分からない選挙戦でした。(関西 岡村藤美)



大阪 団結まつり



11/4 大阪扇町公園で開催された団結まつり。お天気に恵まれ3000人が参加。沖縄から山城博治さんが参加され「玉城デニー新知事を支え、ともに闘い、基地建設STOPを勝ち取ろう」と力強いアピールがありました。SDCCのおでんが大好評。マスコットなどジュゴングッズもたくさん売れました。(東京団結まつりは、10/14に亀戸中央公園にて開催されました)

沖 縄

塩川港からの土砂搬出を許さない！

翁長前知事の命を懸けた決意とその遺志を継いだ埋め立て承認撤回に、防衛局は一旦本部塩川港から積み出した土砂を辺野古に運ぶことは出来ず、逆に塩川港から陸揚げ返品せざるを得なかった。

知事選に勝利したオール沖縄会議の現地闘争部会は10月の第1土曜日県民大行動を工事の止まっている辺野古ゲート前から舞台を本部町民ホールに移した。400名を超える結集で本部塩川港からの土砂搬出再開を許さない決意を示した。

不法不当な「行政不服審査と執行停止申立て」という政府の対抗措置後は、本部町島ぐるみ会議として、緊急学習会の開催、塩川港の監視や岸壁使用許可の再申請の動きへのチェックを強め、10月30日の国交大臣の執行停止決定を受け、急ぎよその日のうちに本部町に面談を求め、対応に出た港湾管理事務所を管轄する建設課長に対して、民意を無視し不当に違法工事を再開するための港湾使用に与することの無いよう、そして早急に町長との面談の場を設定するよう申し入れた。

防衛局が岸壁使用許可申請を出してきたのが、まさにその直後の11月1日の終業間際。

しかし、本部町は台風24号で6か所のうちの3か所の接岸バースが破壊され使用不能となっていることを理由に新たな申請の受理を拒否した。

今回の対応はあくまで物理的なものが理由だとしているが、政府からの圧力が十分予想される中で「使えないものは使えない」と言い切る姿勢を私たちは支持するとともに、今後姑息な手段を駆使してでも土砂の海上搬出を企てる防衛局に対する対応を準備しなければならない。(沖縄 高垣喜三)



400名超えの県民集中行動 本部町民ホールにて



東 京

沖縄県知事選に勝った！10.25集会

10月25日「辺野古新基地NO！これが民意だ 沖縄知事選に勝った！10.25集会」が東京で開催されました。沖縄県知事選挙に勝利した熱気と余韻を共有する場として会場が満席に埋まりました。

沖縄からの訴えとして安次富浩さん（ヘリ基地反対協共同代表）は、「沖縄県知事選は、権力総がかりで行った勝利の方程式に勝った。翁長さんが残したものが県民の心に染みついている」「名護市議選においても相手側は、『刺客』を送り込んで多数派を目指したがだめだった」「オール沖縄は、沖縄のアイデンティティーだ。企業だって基地被害を受けているし、戦争体験者もいる。ウチナーだからできる」「参議院選挙で野党統一候補を立てて勝利し、安倍政権を倒そう」と語りました。

専修大学の白藤教授は、「またしても国家が『私人』になりすまして、執行停止を申し立てるなど異常な事態。法治国家を歪めている」「明日法律の専門家が声明を出す」「沖縄県民が執行停止決定は違法だと取消訴訟

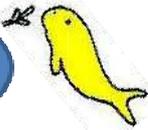
をすべき」「本土の運動も沖縄県民と連帯していくことが重要」と法律家の立場から運動の重要性が語られました。

安倍政権にNO！を突きつける取り組みを全国から広げていくことが重要だとあらためて確認しました。

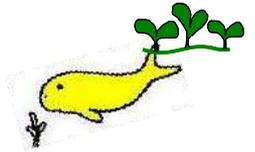
(首都圏 三村昭彦)



報告



「沖縄の環境を考える」
～ シンポジウムに参加して ～



10月27日に沖縄国際大学で沖縄環境ネットワーク結成20周年記念シンポ「沖縄の環境を考える」が開かれました。沖縄環境ネットは環境問題に関心を持つ人々の緩やかな協力の場として結成され、公開勉強、政策提言などの活動を進めてきました。今回は調査報道ジャーナリストのジョン・ミッチェルさんが「FOIA（米国情報自由法）でみる米軍基地と環境問題」を報告しました。

シンポの当日、沖縄タイムス1面にミッチェルさんの記事「普天間飛行場に有害物質 海兵隊16年調査 高濃度で汚染」「民間地域に流失か」が掲載されました。在沖米軍基地にある泡消火剤に発がん性のある残留性有害物質が含まれ、基地内外が汚染されていることを明らかにしました。沖縄県は水質調査で普天間飛行場の地下水が流れ込む周辺の湧き水から高濃度の残留性有害物質を検出し、海兵隊に協議

を求めましたが、未だに拒否しています。米軍基地の存在と日米地位協定が、沖縄県民や米軍人家族の健康を侵しているのです。

この報告をふまえて、世話人の桜井国俊さん（沖縄大学名誉教授）はジュゴン裁判などのような民衆の国際連帯を数例紹介して、県民のいのちと暮らし、沖縄の自然を守るために自治体と連携し、米軍基地・自衛隊基地とその軍事活動による汚染を監視する環境NGOの活動が不可欠であること、情報公開制度を活用して、民衆の幅広い国際連帯が求められていることを提案しました。

コンサートを挟んで、シンポジウムは牧志治さんが（水中写真家）「辺野古・大浦湾の海と、その現在」、吉川秀樹さん（SDCC 国際担当）が「ジュゴン訴訟と今後の展開」などを報告しました。（事務局 蛭川義章）



㊦んさか通信★ジュゴンの㊦

ひとりひとりが考える・県民投票

県民投票の会代表の方に密着した番組を観ました。

おそらくこの方は新基地を造る事には反対なのでしょうが、賛成でも反対でも沖縄県民ひとりひとりがこの問題について考える機会をつくりたいという公平性を大切に、署名活動を行ったんだという事が伝わってきました。

その一つのエピソードに、署名を広める為のチラシのデザインを選ぶ際に、沖縄の海をイメージした波しぶきの図柄のひとつにデザイナーは、隠れキャラクターで波のひとつをジュゴンにしたらどうかと提案しました。

実際そのイラストはとってもかわいく、主張も強くなく全体的にとっても自然な仕上がりででした。

でも代表の方は新基地反対のイメージに繋がる事を懸念してジュゴンを取り入れる事をやめました。

この選択をした真摯な思いに私は心動かされました。

そして署名は実際に必要数の4倍が集まり県民投票が来年には行われようとしています。

しかしいくつかの市では県民投票反対の意向をみせている。お金の問題などを理由に挙げているがその奥の腹黒さを感じずにはいられない。（沖縄・小平）



地元紙に報じられる県民投票の記事（宮古毎日より）

ジュゴンから生まれた琉球文化 — ~ころむ・ころム~

「大」は、水面から頭を出した人、即ち、ジュゴンを表す字であると考えてきた。また、ジュゴンに守護されている地域や人を表す字であると思ってきたが、それは、間違いではなかった。「大」はウフ、ウブと発音され、沖縄中に溢れていた。即ち、名護市大中や大浦湾や大川は、ジュゴン信仰を表す聖なる地、海、川で、また、明治国家に併合されるまでの琉球王朝が大琉球を名乗った理由も、聖なる邦を自負してのことであった。また、「大人」をウフッチュと呼び、ジュゴン信仰の厚い人を指した。

その上、甲骨文字の「大」が、ジュゴンの正面形であることを知って、さらに驚いた。甲骨文字の「大」は、両肩から両腕を斜め横に下ろす琉球舞踊や空手や能や大相撲の立ち方に似ているのであった。そのことから、琉球古典芸能の歌や三線、沖縄空手なども、ジュゴン信仰によって生まれたものであることが分かった。ジュゴンのようにゆったりと踊る琉球舞踊は、三線と歌で踊られる。その三線の胴は、ジュゴン信仰の象徴三つ巴紋が

印され、三線を弾く爪も、マガタマの形に作られているのであった。

甲骨文字によると「三」は聖なる数とされてきたという。すると、ジュゴンは文字の生まれる前に「サン」と呼ばれ、数字の「三」が聖数とされたことが考えられる。また、「山」の字も「サン」「ザン」と呼ぶことから、琉球王国の中山、北山、南山の三山は、ジュゴン信仰の三神山の拠点を表していたことが分かる。即ち、「サン」という言葉の響きが聖数「三」を生み、三山のサンも、三線のサンも、すすきを三本束ねた邪気払のサンも、陰暦三月三日龍宮祭のサンも、全てはジュゴン信仰からきたものということになる。例えば、琉球古典音楽の「サン山節」や「ザンナ節」もそうであり、沖縄空手が「サン」に由来した専守防衛の技であること、「サンチン」「サンサーリュウ」「サーサン」「クーサンクー」などの形名があることがそうである。

海勢頭豊（うみせど ゆたか：SDCC 共同代表）

ぶどうの木保育園バザー♪



大阪自然史フェスティバル☆



色々なイベントでじゅごんをアピール！

11/11 京都のぶどうの木保育園のバザーに出店しました。毎年年長さんが沖縄に平和キャンプに行くので、子どもたちは沖縄のことをよく知っています。そしてジュゴンが大好きです。ジュゴングッズを「かわいい〜!」「どれにしよう〜♥」と楽しそうに選んでくれました。

11/17,18 は大阪市立自然史博物館の自然史フェスティバルにブース出展。100 以上の自然関係サークル、地域の自然保護団体等が出展する一大イベントです。天候に恵まれ、二日間で過去最高 24,000 人が来場、生きもの大好きな多くの方々に、沖縄ジュゴンの現状を伝えることができました。

＜首都圏＞

- ・11/30(金)防衛省、環境省、外務省と交渉し、昨年12月より1年間集めたジュゴン保護署名を提出してきます
- ・12/1(土) ジュゴン訴訟報告集会&海勢頭豊ライブ
18時半～21時(18時開場)
場所: 大田区入新井集会室 Luz 大森4階
参加費 1000円

《 今後のスケジュール 》

- ・12/2(日) 14:30～ 言語道断！辺野古埋め立て みんなので力で土砂投入を止めよう！
講師: 阿部悦子さん PLP会館 500円
- ・12/16(日)東アジアに平和を！武力なき平和のためのZENKOスピーキングツアー
国民会館・大ホール 前売り500円 当日600円

＜関西＞

写真集「辺野古ー海と森がつなぐ命」



2001年からライフワークとして辺野古の海を撮り続けている水中カメラマン・中村卓哉さんの新作写真集です。やんばるの森から辺野古の海へとつながる生きものたちの姿をとらえた、素晴らしい写真の数々。ぜひ一度ご覧ください。

判型: B5判
192ページ・オールカラー
写真点数: 約200点
価格: 2,315円+税
出版: 株式会社クレヴィス

忘年会のごあんない

＜首都圏忘年会＞

12月19日(火) 19時～
場所「沖縄そば ゆんたく」川崎駅下車
弥勒さん(島唄ポップスのデュオ)のライブです♪

＜関西忘年会＞

茶話会の忘年会バージョン。場所はいずれも関西事務所
※じゅごん茶話会☆AfterFive
12月15日(土) 17時～
参加費 500円(飲み物代別)
※じゅごん茶話会
12月20日(木) 14時～
参加費 200円+α



お待ちしています☆



11/13 食べて踊ってめんそーれ♪まるごと沖縄、感じよう -じゅごんの里ツアー参加者さんたちの報告会-



ならコープみみなし店にて

迫力のエイサー。この後参加者も一緒に踊りました。



ならコープ平和の会の世話人の5人の皆さんが、沖縄で観たこと、知ったこと、感じたことを、ひとりでも多くの人に伝えたいと、連続で報告会を開催されています。今年じゅごんの里ツアーの前後合わせて1週間沖縄に滞在し、嘉数高台、読谷村のチビチリガマ、高江などにも行って来られました。思いのこもった報告のほか、8月の報告会では、三線の演奏があり、今回はエイサー鑑賞&体験も。沖縄料理の試食もあり、楽しく、おいしく、考える機会になります。参加者から「今まで深く考えたことが無かったけど、今日のお話を聞いてしっかり考えたいと思った」との感想もあったそうで、手ごたえを感じていらっしゃるようです。SDCCからも、辺野古の現状や私たちの活動についてアピールさせていただきました。次回は来年2月に開催予定。また参加したいです。

(関西 山根富貴子)

ジュゴンちゃんぷるニュース VOL.101 2018年11月27日発行
ジュゴン保護キャンペーンセンター Save the Dugong Campaign Center (SDCC)
〒162-0815 東京都新宿区筑土八幡町2-2-1
第1千代田ビル301 なかま共同事務所内 TEL/FAX 03-5228-1377
○ <http://www.sdcc.jp/> ○ info@sdcc.jp
(関西連絡先) 〒534-0025 大阪市都島区片町2丁目9番21号野ロビル302
TEL/FAX 06-6353-0514

会費(2000円)&カンパ振り込み先

郵便振替:
加入者名 ジュゴン保護キャンペーンセンター
口座番号 00140-9-660199
他行、コンビニからは: ゆうちょ銀行 ○○八支店
口座番号 普通 8159084

ちゃんぷるニュース購読会員募集中です。年会費2000円で年6回ニュースをお届けします
お問い合わせは、上記事務所まで。ニュース購読で、あなたもジュゴンサポーターに!